

発 第 2 8 4 号  
令和 4 年 5 月 2 6 日

当 座 勘 定 取 引 先 御 中

日 本 銀 行

入金内訳および支払金内訳の本行ホームページへの書式掲載に伴う「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」等の一部改正について

今般、日本銀行では、入金内訳および支払金内訳について、取引先の利便性向上の観点から、日本銀行ホームページに掲載した書式（Excel ファイル版）（以下「Excel 書式」といいます。）の使用を可能とすることとしました。これに伴い、下記 1. および 2. の諸規程の一部をそれぞれ別紙 1 および別紙 2 のとおり改正し、令和 4 年 6 月 1 日から実施することとしましたので通知します。

—— 入金内訳および支払金内訳の記入内容および提出方法に変更はありません。

—— 改正後の細則ならびに入金内訳および支払金内訳の Excel 書式につきましては、上記実施日に同ホームページに掲載します。なお、現在日本銀行から取引先に交付している書式は引続き使用可能です。不足が生じた場合には、勘定店に請求してください。

—— Excel 書式を使用する場合には、ファクシミリ送信時等を除き、破線で切り取り A 5 サイズの紙面で勘定店の窓口にご提出くださいますようお願いいたします。

#### 記

1. 「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における現金受払用）」・・・・・・・・別紙 1
2. 「日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則」・・・・・・・・別紙 2

以 上

「日本銀行が行う現金の受払に関する細則（勘定店における  
現金受払用）」中一部改正

- 1. (3) を横線のとおり改める。

1. 基本的な事項

(3) 日本銀行から交付する書式

日本銀行は、取引先に現金受払のために以下の書式を交付します。不足が生じた場合には、勘定店に請求してください。

なお、これらの書式は日本銀行から交付する書式のほか、日本銀行ホームページに掲載した書式を使用することができます。③から⑥までの書式について、同ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取り A 5 サイズの紙面で提出してください。

- ① }  
∫ } 略（不変）  
⑥ }

○ 書式第2号-1(a) から書式第3号までを次のとおり改める (全面改正)。

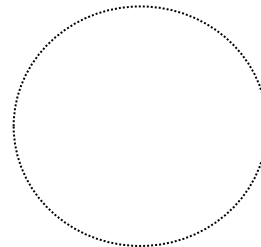
書式第2号-1(a)

受付番号

### 入金内訳 (銀行券)

(日付) . . . . .

券種	金額			摘要
E一万 <sup>円券</sup>			千円	
E五千 <sup>円券</sup>				
E千 <sup>円券</sup>				
D一万 <sup>円券</sup>				
D五千 <sup>円券</sup>				
D二千 <sup>円券</sup>				
D千 <sup>円券</sup>				



(コード番号<7桁>・取引先名)

合計金額		
		千円

(顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

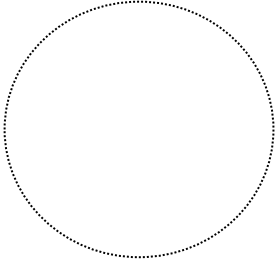
(注1) 日本銀行ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取りA5サイズの紙面でご提出ください。

(注2) 本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。

入金内訳 (銀行券)

受付番号

(日付) . . .

券種	金額			摘要
E一万 <sup>円券</sup>			千円	赤丸券 ( 束) 日銀封等 ( 束)
E五千 <sup>円券</sup>				赤丸券 ( 束) 日銀封等 ( 束)
E千 <sup>円券</sup>				赤丸券 ( 束) 日銀封等 ( 束)
D一万 <sup>円券</sup>				赤丸券 ( 束) 日銀封等 ( 束)
D五千 <sup>円券</sup>				赤丸券 ( 束) 日銀封等 ( 束)
D二千 <sup>円券</sup>				赤丸券 ( 束) 日銀封等 ( 束)
D千 <sup>円券</sup>				赤丸券 ( 束) 日銀封等 ( 束)
C一万 <sup>円券</sup>				
C五千 <sup>円券</sup>				
C千 <sup>円券</sup>				
C五百 <sup>円券</sup>				
B千 <sup>円券</sup>				
B五百 <sup>円券</sup>				
B百 <sup>円券</sup>				

(コード番号<7桁>・取引先名)

合計金額		
		千円

(顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す

- (注1) 日本銀行ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取りA5サイズの紙面でご提出ください。
- (注2) 本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。
- (注3) 赤丸券および日銀封等を持ち込む場合には、摘要欄にその束(端数束については、1把を0.1束とします)の数を記入してください。

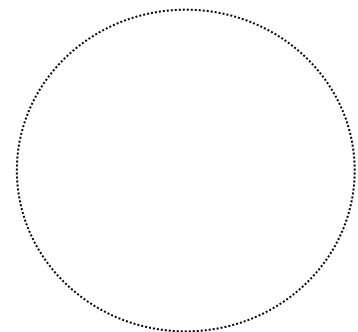
受付番号

## 入金内訳（貨幣・通常貨）

(日付) . . .

種 類		金 額					
貨種	素材・量目	正 貨		損 貨			
500 円貨	ニッケル黄銅、白銅及び銅・ 7.1g			千円		千円	500
	ニッケル黄銅・7.0g						
	白銅・7.2g						
100 円貨	白銅・4.8g						100
	㊤銀・4.8g						
50 円貨	白銅・4.0g						50
	㊤ニッケル・5.0g、5.5g						
10 円貨							10
5 円貨							5
1 円貨							1

合 計 金 額		
		千円



(コード番号&lt;7桁&gt;・取引先名)

(顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す

(注1) 日本銀行ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取りA5サイズの紙面でご提出ください。

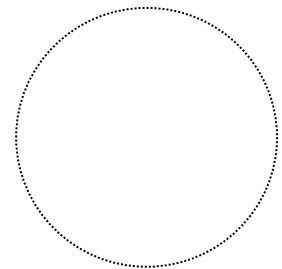
(注2) 本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。

受付番号

入金内訳（貨幣・記念貨）

（日付） . . .

種類		金額		
貨種	素材・量目			
10万 <sup>円貨</sup>	金・30.0g			千円 ( 枚)
	金・20.0g			( 枚)
5万 <sup>円貨</sup>	金・18.0g			( 枚)
1万 <sup>円貨</sup>	金・20.0g			( 枚)
	金・15.6g			( 枚)
	銀・20.0g			( 枚)
5,000 <sup>円貨</sup>	金・7.8g			( 枚)
	純銀・15.0g			( 枚)
	銀合金・15.0g			( 枚)
1,000 <sup>円貨</sup>	銀・20.0g			( 枚)
	銀・31.1g			( 枚)
	銀合金・31.1g			( 枚)
500 <sup>円貨</sup>	銀・15.6g			
	白銅・13.0g			
	ニッケル黄銅・7.0g			
	ニッケル黄銅、白銅及び銅・7.1g			
100 <sup>円貨</sup>	白銅・12.0g			
	白銅・9.0g			
	白銅及び銅・4.8g			



合計金額		
		千円

（コード番号<7桁>・取引先名）

（顔写真登録番号）授受責任者には○を付す

（注1）日本銀行ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取りA5サイズの紙面でご提出ください。

（注2）本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。

## 支 払 金 内 訳

番号札

(日付) . . .

金 種	金 額	内 訳								
		印刷局封	日銀封							
銀行券	E一万 円券			千円						E一万
	E五千 円券									E五千
	E千 円券									E千
	D二千 円券									D二千
貨 幣	500 円貨				(コード番号<7桁>・取引先名) _____ (顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す _____					
	500 円貨 黄銅 7.0 g									
	100 円貨									
	50 円貨									
	10 円貨									
	5 円貨									
	1 円貨									
合 計										

(注1) 日本銀行ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取りA5サイズの紙面でご提出ください。

(注2) 本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。

「日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則」中一部改正

- 第1編2.(3)を横線のとおり改める。

第1編 日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則  
＜オンラインによる受払編＞

2. 受直送または直送払を受けるための届出等

(3) 日本銀行から交付する書式

日本銀行は、(2)で取引先の営業所等または委託業者の事業所等を直送場所として認める旨を通知した取引先に対して、以下の書式を交付します。不足が生じた場合には、勘定店に請求してください。

なお、②の書式については、日本銀行から交付する書式のほか、日本銀行ホームページに掲載した書式を使用することができます。

- ① }  
② } 略(不変)



○ 第1編書式第4号および書式第5号を次のとおり改める（全面改正）。

書式第4号

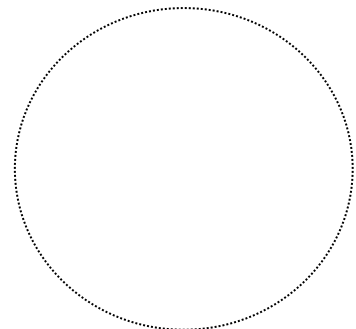
受付番号

入金内訳（貨幣・通常貨）

（日付） . . . . .

種類		金額						
貨種	素材・量目	正貨			損貨			
500 円貨	ニッケル黄銅、白銅及び銅・ 7.1g			千円			千円	500
	ニッケル黄銅・7.0g							
	白銅・7.2g							
100 円貨	白銅・4.8g							100
	㊦銀・4.8g							
50 円貨	白銅・4.0g							50
	㊦ニッケル・5.0g、5.5g							
10 円貨								10
5 円貨								5
1 円貨								1

合計金額		
		千円



（コード番号<7桁>・取引先名）

（顔写真登録番号）授受責任者には○を付す

（注1）日本銀行ホームページに掲載した書式を使用することができます。

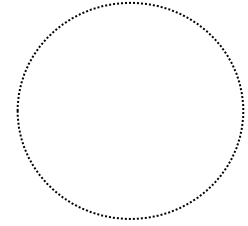
（注2）本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。

# 支払金内訳

(日付) . . .

番号札
-----

金種	金額	内訳								
		印刷局封		日銀封						
銀行券	E一万 円券			千円				千円		E一万
	E五千 円券									E五千
	E千 円券									E千
	D二千 円券									D二千
貨幣	500 円貨				(コード番号<7桁>・取引先名) _____ (顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す [ ]					
	500 円貨 黄銅 7.0g									
	100 円貨									
	50 円貨									
	10 円貨									
	5 円貨									
	1 円貨									
合計										



(注1) 日本銀行ホームページに掲載した書式を使用することができます。

(注2) 本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。

- 第2編2.(3)を横線のとおり改める。

第2編 日本銀行が行う受直送および直送払に関する細則  
＜非オンラインによる受払編＞

2. 受直送または直送払を受けるための届出等

(3) 日本銀行から交付する書式

日本銀行は、(2)で取引先の営業所等または委託業者の事業所等を直送場所として認める旨を通知した取引先に対して、以下の書式を交付します。不足が生じた場合には、勘定店に請求してください。

なお、②の書式については、日本銀行から交付する書式のほか、日本銀行ホームページに掲載した書式を使用することができます。同ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取りA5サイズの紙面で提出してください。

- ① }  
② } 略(不変)

○ 第2編書式第4号および書式第5号を次のとおり改める（全面改正）。

書式第4号

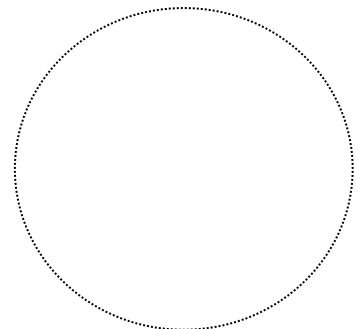
受付番号

入金内訳（貨幣・通常貨）

（日付） . . .

種類		金額						
貨種	素材・量目	正貨			損貨			
500 円貨	ニッケル黄銅、白銅及び銅・ 7.1g			千円			千円	500
	ニッケル黄銅・7.0g							
	白銅・7.2g	/						
100 円貨	白銅・4.8g							100
	㊄銀・4.8g	/						
50 円貨	白銅・4.0g							50
	㊄ニッケル・5.0g、5.5g	/						
10 円貨								10
5 円貨								5
1 円貨								1

合計金額		
		千円



（コード番号<7桁>・取引先名）

（顔写真登録番号）授受責任者には○を付す

（注1）日本銀行ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取りA5サイズの紙面でご提出ください。

（注2）本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。

# 支 払 金 内 訳

番号札

(日付) . . .

金 種	金 額	内 訳						
		印刷局封		日銀封				
銀行券	E一万 円券		千円		千円		千円	E一万
	E五千 円券							E五千
	E千 円券							E千
	D二千 円券							D二千
貨 幣	500 円貨			(コード番号<7桁>・取引先名) _____ (顔写真登録番号) 授受責任者には○を付す _____				
	500 円貨 黄銅 7.0g							
	100 円貨							
	50 円貨							
	10 円貨							
	5 円貨							
	1 円貨							
合 計								

(注1) 日本銀行ホームページに掲載した書式を使用する場合には、破線で切り取りA5サイズの紙面でご提出ください。

(注2) 本書式を加工して使用することを希望する場合には、事前に日本銀行にご相談ください。